



10月は米山月間



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

295

2024年10月11日

発行

1 米山学友会が被災地で合同ボランティア

9月15日、第2610地区米山学友会と第2660地区米山学友会が合同奉仕活動として、能登半島被災地支援ボランティアを実施しました。

両学友会は今年の6月から活動計画や意見交換を行っており、被災地支援と両学友会の親睦強化を目的とし、第2610地区学友会から13人、第2660地区学友会から24人の米山奨学生・学友、第2610地区の大橋聡司ガバナー、輪島RC、小矢部RCのロータリー会員が参加しました。

当日は輪島市役所を訪問し、総額40万円（第



2660地区学友会から30万円、第2610地区学友会から10万円)の支援金を輪島教育委員会へ贈呈。この支援金は今後、輪島市の学校の復興に役立てる予定とのことです。その後、介護老人保健施設「百寿苑」へ移動し、利用者のベッドや冷蔵庫、転倒したタンスなどを撤去するボランティア活動を行いました。

第2610地区学友会会長の^{ハンジュンイ}範雋偉さん(2015-17/小矢部RC)は、「復興活動を続けていき、被災地域の方々に少しでも安心と希望を届けることができればと思います」と述べました。

2 ネパール訪問の懸け橋に

9月13日から16日、国際ロータリー第2790地区佐倉RCの会員7人がネパールを訪問し、現地の小中学校視察、生徒たちとの交流会、学校用品の寄贈、ドゥリケルRCとの交流会を行いました。

この訪問は、ネパール出身の米山学友であるケーシー ビザエさん(2017-18/市川RC)から、「母の母校である小中学校の衛生状態が非常に悪く、経済的にも改善するゆとりがありません。ロータリーの皆さまの力をお借りできない

でしょうか」と連絡があったことが発端。それを受け同クラブは、視察を目的にネパールへ赴き、十分な学習道具の購入ができない生徒たちへの学校用品支援、生徒たちとの交流会を行うことを決定。ビザエさんはこのプロジェクトの計画立案から参加し、現地では通訳、現地の学校、ドゥリケルRCとの調整など、コーディネートを担当。現地でも大活躍だったそうです。

現地を訪れた一人で、過去に米山奨学生のカウンセラー経験のある森本功会員は、「ビザエさんのおかげで素晴らしい経験ができました」と、ビザエさんの活躍を称賛。続けて、「彼のような米山学友たちは家族同然です。優秀で勤勉、エネルギッシュな方が多く、将来がとても楽しみです。我々にとって米山学友は『夢』、『希望』であり、成長した学友たちが日本と母国、そして世界との懸け橋になってくれる存在だと、心の底から思っています」と、述べました。



現地で活動するビザエさん(右)

3 寄付金速報 一年に1度の米山月間

前年同期比

- 21.7%

普 - 3.3% 特 - 36.0%

9月までの寄付金は前年同期と比べて21.7%減（普通寄付金:3.3%減、特別寄付金:36.0%減）、約9,900万円の減少とな

りました。9月は500万円の寄付を含む大口寄付が3件ありました。そのため、前年同月比較では1,000万円増加しています。ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。10月は米山月間です。引き続き皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

4 米山月間の由来

10月はロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマ、米山月間となっています。なぜ、10月が米山月間なのでしょう？

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4月で

は各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。

1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。

5 2地区合同の清掃活動で柿田川をきれいに

9月7日、第2580地区・第2620地区合同の柿田川湧水公園清掃奉仕作業が実施され、米山奨学生・学友61人を含む210人が参加しました。この清掃活動は、地元の沼津柿田川RCの創立35周年記念事業として2015年から始まったもので、今回で8回目の開催となりました（20年、21年はコロナで中止）。参加者たちは、静岡県駿東郡の清水町地域交



清掃活動中の奨学生たち

流センターで川の生態系と外来種について清水町役場の職員からレクチャーを受け、柿田川湧水公園へ移動。3班に分かれ、一級河川である柿田川の外来種駆除、川辺の外来種駆除、公園の散策をローテーションで行いました。米山奨学生たちは、参加したカウンセラーと一緒に清掃を行い、奉仕活動をしながら親睦を深める有意義な時間となりました。

韓国米山学友会 総会開催のご案内

- ◇2024年11月16日（土）17:00～
- ◇会場：ソウルパシフィックホテル 2階（南山ホール）

詳細はQRコードから



詳細はQRコードから



台湾米山学友会 総会開催のご案内

- ◇2024年12月8日（日）17:30～
- ◇会場：格萊天漾大飯店（Great Skyview）